

大学・高専機能強化支援事業（支援 1：学部再編等による特定成長分野への転換等に係る支援）  
実施状況報告書

選定年度	令和6年度	学校コード	F113310103171	設置等組織名	情報科学部
大学名	大正大学	設置区分	私立	事業計画名	大正大学 建学の理念「智慧と慈悲の実践」を行動の礎とする文理融合のデジタル人材の育成
学校種	大学	都道府県	東京		

1.フェーズ別の計画及び取組状況

フェーズ別の事業計画と取組状況、年度別の自己評価を記載してください。

当初計画から変更又は追加した取組がある場合は「取組状況」に取組を赤字で記載してください。また、計画変更申請をした場合は「取組状況」に承認日を赤字で記載してください。

計画の進捗の遅れや実施困難な事項がある等、自己評価が下位2つの場合には、課題（理由）とその対応を記載してください。計画通りに実施できており、その他課題がない場合に限り記載は不要です。

事業期間	事業計画	取組状況	自己評価、課題（理由）とその対応	
フェーズ1	(令和6年度) 1-① 令和6年7月～設置申請準備業務 1-② 令和6年7月～事務職員・事務補佐員採用、備品購入 1-③ 令和6年7月～専任教員(実務家、教員を含む)、非常勤教員、地域実習現地教員等採用活動 1-④ 令和6年7月～先進事例調査、アドバイザーボード活用 1-⑤ 令和6年7月～連携企業・自治体・大学とのヒアリング、教育プログラムについての合意形成 1-⑥ 令和6年7月～フィールドワーク、現地実習についての最終確定(設置申請時)、広報活動・学生募集活動計画の策定及び開始 1-⑦ 令和6年7月～高校生を中心とした進学動向調査 1-⑧ 令和6年10月～企業や組織、団体(自治体を含む)へのニーズについての調査 1-⑨ 令和6年12月～新学部の最終構想の確定(外部評価委員会に諮問)	①令和6年7月～設置申請準備業務 ②令和6年7月～事務職員・事務補佐員採用、備品購入 ③令和6年7月～専任教員(実務家、教員を含む)、非常勤教員、地域実習現地教員等採用活動 ④令和6年7月～先進事例調査、合宿研修会・打ち合わせ ⑤令和6年7月～連携企業・自治体・大学とのヒアリング、教育プログラムについての合意形成 ⑥令和6年7月～フィールドワーク、現地実習についての最終確定(設置申請時)、広報活動・学生募集活動計画の策定及び開始 ⑦令和6年7月～高校生を中心とした進学動向調査 ⑧令和6年10月 シンポジウムへの参画(令和7年3月28日) ⑨令和6年10月～企業や組織、団体(自治体を含む)へのニーズについての調査 ⑩令和6年12月～新学部の最終構想の確定(外部評価委員会に諮問)	R6年度自己評価	【3】計画を十分に実施している。
			R6年度自己評価	リストから選択してください。
フェーズ2 前倒し			○年度自己評価	リストから選択してください。
認可申請又は届出	令和7年3月 情報科学部設置認可申請予定「令和8年4月 情報科学部グリーンデジタル情報学科（入学定員60人、収容定員240人、工学関係）、デジタル文化財情報学科（入学定員60人、収容定員240人、工学関係）」 令和7年3月 収容定員の総数の増加 認可申請予定	令和7年3月 情報科学部設置認可申請「令和8年4月 情報科学部グリーンデジタル情報学科（入学定員60人、収容定員240人、工学関係）、デジタル文化財情報学科（入学定員60人、収容定員240人、工学関係）」 令和7年3月 収容定員の総数の増加 認可申請		
フェーズ1 後倒し			○年度自己評価	リストから選択してください。
フェーズ2	(令和7年度) 2-① 令和7年5月 新学部対応の施設（4号館）の改築等工事及び設備整備(初年度)の実施 2-② 令和7年6月～ 新学部対応の教育研究棟（15号館）改修工事(初年度)の実施		○年度自己評価	リストから選択してください。
開設又は定員増	令和8年4月 情報科学部開設、総収容定員増予定「令和8年4月 情報科学部グリーンデジタル情報学科（入学定員60人、収容定員240人、工学関係）、デジタル文化財情報学科（入学定員60人、収容定員240人、工学関係）」			
フェーズ2 後倒し	(令和8年度) 2-① 令和7年5月から継続 新学部対応の施設（4号館）の改築等工事(2年目) 2-③ 新学部対応の施設（4号館）設備整備(初年度)の実施		○年度自己評価	リストから選択してください。
フェーズ3	(令和8年度) 3-① 令和8年4月～ 技術職員（2名）雇用  (令和9年度) 3-① 令和8年4月～ 技術職員（2名）雇用  (令和10年度) 3-① 令和8年4月～ 技術職員（2名）雇用  (令和11年度) 3-① 令和8年4月～ 技術職員（2名）雇用		○年度自己評価	リストから選択してください。
			○年度自己評価	リストから選択してください。
○年度自己評価	リストから選択してください。			
○年度自己評価	リストから選択してください。			
定員減又は学部等の廃止	他学部、令和12年4月～令和15年4月、毎年度120名定員減予定			

フォローアップ対象年度	令和6年度	大学名	大正大学
-------------	-------	-----	------

2.申請資格の確認

該当しない場合は、チェックしてください。

- i) 学生募集停止中の大学
 

該当無し	<input checked="" type="checkbox"/> チェック
------	--
- ii) 学校教育法第109条の規定に基づき文部科学大臣の認証を受けた者による直近の評価の結果、「不適合」の判定を受けている大学
 

該当無し	<input checked="" type="checkbox"/> チェック
------	--
- iii) 「私立大学等経常費補助金」において、定員の充足状況に係る基準以外の事由により、前年度に不交付又は減額の措置を受けた大学
 

該当無し	<input checked="" type="checkbox"/> チェック
------	--
- iv) 設置計画履行状況等調査において、「指摘事項（法令違反）」が付されている大学
 

該当無し	<input checked="" type="checkbox"/> チェック
------	--
- v) 大学、短期大学及び高等専門学校を設置等に係る認可の基準（平成15年文部科学省告示第45号）第2条第1号又は第2号のいずれかに該当する者が設置する大学
 

該当無し	<input checked="" type="checkbox"/> チェック
------	--

3.申請要件の取組状況

令和6年度 の取組が当初の計画通りに進んでいる、又はチェック項目に該当する場合はチェックしてください。計画通りに進んでいない、又はチェック項目に該当しない場合は右欄に課題（理由）とその対応を記載してください。

①	高等教育の修学支援新制度において、大学等における修学の支援に関する法律（令和元年法律第8号）に基づき、財務状況や収容定員充足率が適正であることを含めた要件を満たすことの確認を受けた大学であること。なお、新設予定の大学で、応募時点において、高等教育の修学支援新制度における要件確認の対象に該当しないものは、本要件は適用されない。					
	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td>確認を受けている</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> チェック</td> </tr> <tr> <td>確認の対象に該当しない</td> <td><input type="checkbox"/> チェック</td> </tr> </table>	確認を受けている	<input checked="" type="checkbox"/> チェック	確認の対象に該当しない	<input type="checkbox"/> チェック	
確認を受けている	<input checked="" type="checkbox"/> チェック					
確認の対象に該当しない	<input type="checkbox"/> チェック					
②	十分な学生確保の見通しを備えた計画となっていること。					
	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td>計画通りに進んでいる</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> チェック</td> </tr> </table>	計画通りに進んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> チェック			
計画通りに進んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> チェック					
③	産業界を含む社会のニーズ等を踏まえ、学修目標の具体化、体系的な教育カリキュラムの編成及び大学での学修に必要な資質・能力等を評価する入学者選抜が適切に実施され、そのための体制を構築する計画となっていること。（その際、国際的な質保証の枠組みを活用するなど出口における質保証にも十分留意することが重要。）	国際的な質保証の枠組みを導入するため、EQANIE(情報科学教育に特化した質保証の枠組みとして、ヨーロッパを中心に国際的な認知度を持つ認証機関)にエントリーを行う予定であったが、学内の審議及び外部評価委員会による評価の結果、次の理由から、EQANIEではなく、JABEEにエントリーをすることとした。JABEEは完成年度に先立っての評価が可能であり、学部設置の3年目でJABEE予備審査の受審を計画する。完成年度前に質保証の点検を行い、教育プログラムの質保証と国際的な認証取得を確実なものとする。JABEEやABETなど世界各国の質保証機関が参画している国際工学連盟(International Engineering Alliance, IEA) の「卒業生としての知識・能力と専門職としての知識・能力」のガイドライン IEA: Graduate Attributes and Professional Competencies Version4を、先行して参照し、学習・教育達成目標に反映させることで先進的な教育プログラムを実現する。				
	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td>計画通りに進んでいる</td> <td><input type="checkbox"/> チェック</td> </tr> </table>	計画通りに進んでいる	<input type="checkbox"/> チェック			
計画通りに進んでいる	<input type="checkbox"/> チェック					
④	特定成長分野の人材を育成するための戦略、適切な管理・教育体制や教育研究環境の整備を図る計画となっていること。					
	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td>計画通りに進んでいる</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> チェック</td> </tr> </table>	計画通りに進んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> チェック			
計画通りに進んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> チェック					
⑤	計画の対象となる学部等において、実務経験のある教員等による授業科目を配置する計画となっていること。					
	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td>計画通りに進んでいる</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> チェック</td> </tr> </table>	計画通りに進んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> チェック			
計画通りに進んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> チェック					
⑥	特定成長分野に係る学部の設置等（学部若しくは学科の設置又は収容定員の増加）による組織の変更を伴う学部再編等の計画であること。					
	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td>計画通りに進んでいる</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> チェック</td> </tr> </table>	計画通りに進んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> チェック			
計画通りに進んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> チェック					
⑦	社会において具体的な人材ニーズが現に存在する、又は、その十分な見通しのある分野に係る学部等の設置等に取り組む計画であること。					
	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td>計画通りに進んでいる</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> チェック</td> </tr> </table>	計画通りに進んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> チェック			
計画通りに進んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> チェック					
⑦	学部又は学科の設置を行う場合、地域における特定成長分野の人材を必要としている複数の企業等と設置構想に関する事前協議を行う計画であること。					
	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td>計画通りに進んでいる</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> チェック</td> </tr> </table>	計画通りに進んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> チェック			
計画通りに進んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> チェック					
⑧	入学定員が20名以上増加する計画であること。					
	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td>計画通りに進んでいる</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> チェック</td> </tr> </table>	計画通りに進んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> チェック			
計画通りに進んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> チェック					
⑨	事業計画の選定があった日から4年を経過する日を含む年度の末日までに、計画の対象となる学部等の設置等を行うことを目指す計画であること。（本事業の申請時に既に設置認可申請又は届出を行っている場合を除く。）					
	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td>計画通りに進んでいる、又は設置等を行った</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> チェック</td> </tr> </table>	計画通りに進んでいる、又は設置等を行った	<input checked="" type="checkbox"/> チェック			
計画通りに進んでいる、又は設置等を行った	<input checked="" type="checkbox"/> チェック					
⑩	大学の総収容定員充足率（在籍学生数の収容定員に対する割合）について、計画の対象となる学部等の設置等に係る設置認可申請又は届出までに80%を満たす計画であること。					
	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td>計画通りに進んでいる</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> チェック</td> </tr> </table>	計画通りに進んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> チェック			
計画通りに進んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> チェック					
⑪	フェーズ3の助成期間終了時までに、大学全体の外部資金獲得額を申請時点の平均（過去5年間の中央値3年分の平均）に本事業による支援額の2.5%を上乗せした水準以上とする計画であること。	外部資金獲得強化のためのアドバイザーを迎え、科研費等の獲得に向けた体制の強化を進めている。				
	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td>計画通りに進んでいる</td> <td><input type="checkbox"/> チェック</td> </tr> </table>	計画通りに進んでいる	<input type="checkbox"/> チェック			
計画通りに進んでいる	<input type="checkbox"/> チェック					
⑫	計画の対象となる学部又は学科において、自大学以外の機関との連携を通じた教育体制の整備と教育の実施及び多様な入学者の確保に向けた取組を行う計画であること。					
	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td>計画通りに進んでいる</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> チェック</td> </tr> </table>	計画通りに進んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> チェック			
計画通りに進んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> チェック					
⑬	選定された大学は、公募要領に定める申請要件を満たす質の高い教育等に向けた計画の具体化に努めるとともに、その進捗報告を行うこと。また、独立行政法人大学改革支援・学位授与機構法第十六条の三に規定する助成業務の実施に関する方針（令和5年4月13日文部科学大臣認可）六（2）②に基づき機構が実施する会議に参加すること。					
	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td>計画の具体化に努め進捗報告を行い、会議に参加した</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> チェック</td> </tr> </table>	計画の具体化に努め進捗報告を行い、会議に参加した	<input checked="" type="checkbox"/> チェック			
計画の具体化に努め進捗報告を行い、会議に参加した	<input checked="" type="checkbox"/> チェック					
⑭	文部科学大臣から国際卓越研究大学として認定を受け、支援を受けている大学でないこと。					
	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td>認定を受けておらず申請する意向もない</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> チェック</td> </tr> </table>	認定を受けておらず申請する意向もない	<input checked="" type="checkbox"/> チェック			
認定を受けておらず申請する意向もない	<input checked="" type="checkbox"/> チェック					

フォローアップ対象年度	令和6年度	大学名	大正大学
-------------	-------	-----	------

4. 審査要項における確認項目の計画及び取組状況

令和6年度 の取組実績を記載し、申請時に選択した項目にチェックを入れた計画を記載してください。取組実績は会社名や大学名、定量的なデータ等を示し具体的に記載してください。検討中であっても状況を記載してください。計画の進捗の遅れや実施困難な事項がある場合には、課題（理由）とその対応を記載してください。計画通りに実施できており、その他課題がない場合に限り記載は不要です。

【A：連携を通じた教育体制の整備と実施】（関係開設科目に限らない）

- チェック a. 企業や自治体と連携した科目（PBL等）の整備・実施
- チェック b. 関連分野に強みを持つ地域の他大学と連携した科目の整備・実施
- チェック c. 関連分野に強みを持つ海外大学との連携（連携した科目や交換留学プログラムの整備・実施等）

申請時の計画	取組実績、進捗状況	課題（理由）とその対応
<p>新学部設置にあたっては、デジタルグリーンイノベーションやグリーンBiz、文化/自然遺産のデジタルアーカイブ等に関心や実績を有する企業（ソフトバンク株式会社、TOPPANホールディングス株式会社等）と事前協議を行い、連携してPBL型の授業科目を整備・実施する。また、本学の連携自治体のうち特に関係の深い自治体とも情報技術やデジタルを活用した地域課題解決とするために必要な人材要件について協議を行い、連携してフィールドワーク等を実施する予定である。関連分野に強みをもつ地域の他大学との連携については、「緑の流域治水」で連携関係にある熊本県立大学（熊本県）のほか、ウェルビーイングの観点から東日本国際大学（福島県）と協働して科目を整備し、実施する。また、海外大学については、同じく仏教系大学であり情報系学部を有する東国大（韓国）や、情報技術系の教育に強みをもつ上海大学（中国）との交換留学プログラムを実施予定である。</p>	<p>カリキュラム作成にあたり、学部共通科目として、4段階のPBL授業の実施を計画した。このPBLの中で連携自治体や企業との共同による課題解決PBLや価値創造PBL、産学連携PBLを実施し、社会と直結した課題解決スキルの向上をはかる。特に藤枝市とは、連携協定含め協力関係を深めており、今後、より具体的なPBL運営計画の策定や、共同研究の模索などを進めていく段階にある。</p> <p>他大学との連携は、申請時の熊本県立大学とは研究の面での連携関係がより強化になってきているが、まだ地域の大学教育への寄与の段階にはない。海外の大学との連携についても同様である。</p>	<p>学部学科の設置がまだの状態であることから、PBLの具体的内容、実施計画などを詰めることができる状況にないため、取組の具体化は十分には進んでいない。一方で、藤枝市とは連携した取組についての協議が始まりつつあり、今後より詳細な内容を詰めていく。</p> <p>地域の大学との連携は、熊本県立大学とは研究ベースで協力関係が強化されているが、双方に互換する学部・学科がないため、単位互換などの連携には至っていない。</p> <p>国際交流も同様に、学部としての具体的な連携の段階に至っていない。</p> <p>これらに対しては、他の大学等との連携の模索も含め、現在検討中である。</p>

【B：多様な入学者の確保に向けた取組】

- チェック a. 入学者選抜における科目の見直し
- チェック b. 女子学生の確保（志願者数増）に向けた取組
- チェック c. 地域の初等中等教育段階の学校との連携（出張授業の実施等）
- チェック d. 社会人学生の受入れ強化に向けた取組（リカレント・リスキリングへの対応）
- チェック e. 留学生の受入れ強化に向けた取組

申請時の計画	取組実績、進捗状況	課題（理由）とその対応
<p>多様な入学者の確保に向けては、本学が取り組む「高大接続パートナーシッププロジェクト（S-U.P.P）」の加盟高校56校（2024年2月現在）を対象とした出張講義や学びの共創等の取組を継続しつつ、新たにIoTを内容とする授業の実施を検討している（現在、大学の立地する豊島区においては、地域の公立小・中・高校でグリーンプラに関する出張講義や大学見学を実施している）。また、離島など地方在住の高校生と共同した教育関連プログラムの実施や社会人向けリスキリング講座の開催など、年代や出身地等を限定しない多様な層へのアプローチを図り、本学における「新たな領域の地域戦略人材育成」の意義や魅力を発信する。また、女子学生の獲得についても、総合型選抜において女子受験者を対象とした特別試験の実現に向けて調査・検討を行う。</p>	<p>高大接続の強化を目的にS-U.P.P校との連携を強化した。また、高校に向けた出前授業は、王子総合高校をはじめとする都内だけでなく、静岡県の藤枝順心高校・宮崎県の延岡工業高校でも実施し、連携強化を図った。</p> <p>入試については、理系入試・文系入試の導入、女子や離島出身者に対する支援などを組み込む予定をしている。</p>	<p>社会人向けのリカレント・リスキリングの検討は十分に進んでいないが、教養科目や専門科目のオンデマンド授業の展開などを行っていく。</p> <p>オンデマンド授業はすでに「学びのコミュニティ」として、高校生向けの特設サイトを設け、数学等のオンデマンド授業の配信等を行っており、これを基盤とした取組を進める。</p>









大学名	大正大学
-----	------

### 3.大学（学士課程）の状況

年度				R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度	R19年度	R20年度	R21年度	R22年度	R23年度	R24年度	
大区分	小区分	項目	単位																				
学生の入学・在籍状況	春季入学	入学定員	人	1125	1125																		
		入学者数	人	1053	1281																		
	その他の学期	入学定員	人	***	***																		
		入学者数	人	***	***																		
	入学者合計	入学定員(A)	人	1,125	1,125																		
		入学者数(B)	人	1,053	1,281																		
		入学定員充足率 (B/A)	倍	0.94	1.14																		
	収容定員等	収容定員(C)	人	4590	4590																		
		編入学定員	人	45	45																		
		在籍者数(D)	人	4669	4783																		
		編入学者数	人	32	41																		
		収容定員充足率 (D/C)	倍	1.02	1.04																		

### 4.外部資金の状況（全学）

年度		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度	R19年度
改組状況		選定-6年	選定-5年	選定-4年	選定-3年	選定-2年	選定		開設			完成年度								
項目	単位																			
外部資金獲得額	千円	441,385	468,743	459,811	411,291	494,754	391,311													

項目	単位	
申請時点の外部資金獲得額平均 (過去5年間に於ける各年度の外部資金獲得額のうち最大額及び最小額を除いた残り3年分の平均) (E)	千円	456,646
本事業による助成金の額(F)	千円	1,418,000
フェーズ3の助成期間終了時までに達成する額(E+F×2.5%)	千円	492,096

### 特記事項